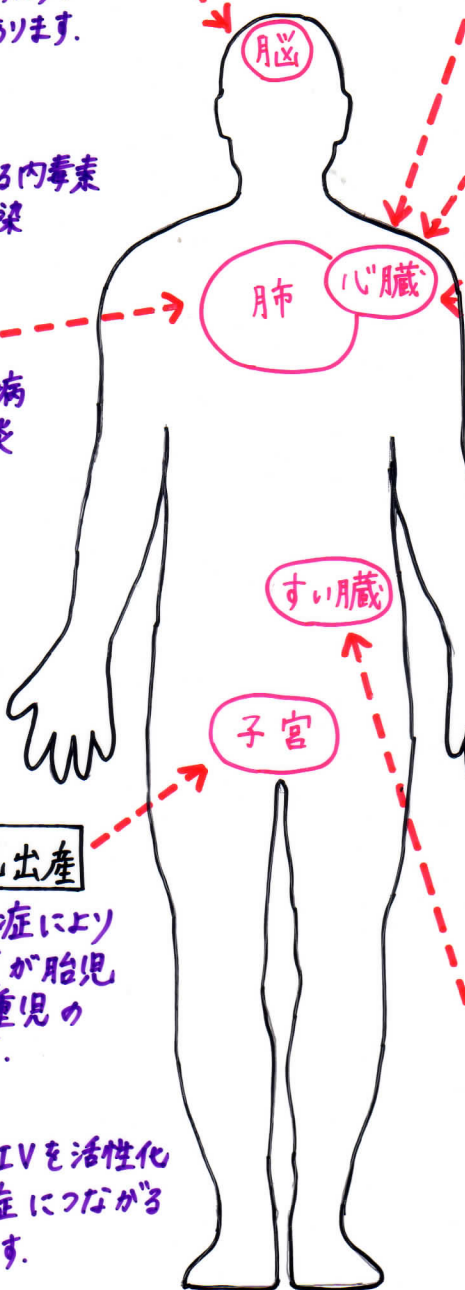
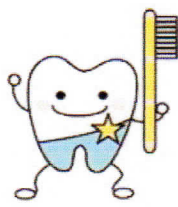


— 全身疾患と歯周病の関係 —



認知症

歯周病予防による動脈硬化のリスクの低減が認知症の予防になります。

癒

歯周病により癒のリスクが高まる可能性があります。

インフルエンザ

歯周病菌の産生する毒素によりウイルスに感染しやすくなります。

誤嚥性肺炎

誤嚥により歯周病菌が肺に入り肺炎を引き起こします。

関節性リウマチ

歯周病治療により関節リウマチの症状が改善した報告があります。

早期低体重児出産

歯周病菌の炎症により産生される物質が胎児の早産や低体重児のリスクを高めます。

エイズ

歯周病菌がHIVを活性化させ、エイズ発症につながる可能性があります。

パージャー病

患部の血管の大部分から歯周病菌が検出されています。

肥満

あまり食わなくても太りやすい体質は歯周病菌が肝臓と脂肪組織に脂肪を沈着させることが原因です。

虚血性心疾患

血液で心臓に運ばれた歯周病菌が血管に血栓を形成することでリスクが高まります。

心内膜炎

心臓の弁に歯周病菌が感染して起こることがあります。

心筋梗塞

心筋梗塞で亡くなった方の冠状動脈から歯周病菌が検出されたという報告があります。

動脈硬化症

血管内壁が厚くなって血液が正常に流れなくなり血栓ができます。患部から歯周病菌が検出されています。

骨粗鬆症

骨粗鬆症の患者は歯周病にかかりやすく重症化しやすい傾向にあります。

糖尿病

糖尿病の第6番目の合併症と言われており、発病・重症化した歯周病が慢性炎症としてⅡ型糖尿病を悪化させます。

歯周病を予防する事が全身の生活習慣病を予防することにつながります。
定期的なクリーニングでお待ちしています！